

絆

赤井むつみ後援会便り第57号

笑顔あふれる温かい町に！

2022年 9月 発行



決算委員会終了！

一般会計 収入（歳入）176億9,144万円（昨年は、216億5,311万円）
支出（歳出）173億5,116万円（昨年は、211億5,142万円）
貯金（基金）113億 477万円（昨年は、 86億5,437万円）
借金（町債）136億7,275万円（昨年は、141億5,706万円）

昨年に比べ収入も支出も減っていますが、貯金が増え、借金が減っていることからわかるように、黒字決算となりました。これは職員全員の努力と、町民の協力の賜物だと思っています。収入の中では固定資産税やふるさと納税が増えていることが目立ちましたが、永遠に続くものではないので、無駄な支出はなるべく抑え、最少の経費で最大の効果をあげると共に、町民の幸せにつながる行政を目指してほしいですね。そのためにもみんなで知恵を出し合いましょう！



補正予算より主なもの

2022年度 一般会計補正予算（第5号）より。

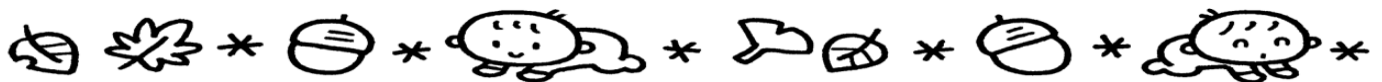
- ★国の地方創生臨時交付金により、町民一人15,000円分の商品券を配布することが決まりました。商品券にすると、それに伴う印刷代等が発生するので、現金配布を考えたそうですが、国からの指導で、現金配布はできないことになっているそうです。また、他の市町村のように、水道代値下げという方法も検討したそうですが、公平性に欠けるということから、商品券の配布という形になったそうです。今は、物価の値上がりも大きく、年越しを考えると助かる方が多くいらっしゃると思いますが、この事業が町の発展に少しでもつながるといいですね！
- ★八雲高校がもうすぐ創立100周年を迎えるということで、記念事業補助金として500万円が決まりました。説明によると、これは今年度分だそうです。もちろん、八雲高校は町立ではないので、町の事業ではありませんが、町から500万円も補助するので、有効に活用してほしいですね。日本では記念事業というと、過去の称賛になってしまうことが多いのですが、これからはそうではなく、現役の高校生、そしてこれからの高校生が世界中で活躍できるように、大いに生かしてほしいと思います。一般的な記念碑や看板など、一時的な物や生徒の幸せに直結しないものには決して使わないでほしいと、同窓生の一人として強く思います。
- ★熊石歯科診療所備品購入：821万7千円、落部歯科診療所機械器具修繕や備品購入：122万3千円が決定しました。
- ★新幹線建設工事発生土受入地購入費：996万4千円（トンネル残土は来年春以降搬入予定）
新幹線開通がスムーズに進むためにも、残土処理の安全・安心は何よりも重要です。

問1 『公務員に副業を！』

今年に入り、地域の基幹産業を守ることが「地域貢献」や「公共性」にあたるという解釈から、一次産業の繁忙期の手伝いが公務員の副業として認められ、実施している自治体も増えています。人手不足を補うことも大切ですが、八雲町が副業を認めるときは、「地域に飛び出し、地域課題に直接触れ、業務に活かす」ことを狙いにしてほしいです。また、その逆に民間や国家公務員、地方公務員の兼業を前提としたキャリア採用を取り入れ、テレワーク等で働いてもらっている事例もあります。人口減少が進み、人手不足が生じるこれから、いろいろな方法を工夫し八雲町の元気を維持してほしいと思いますが、町長のお考えをお伺いします。

答 『早急に検討！』

地方公務員も地域社会のコーディネーターとして、第一次産業を副業先に選ぶ自治体が増えている。八雲町としては副業により発見できたことを業務に活かす、また、自身のキャリア形成につなげるなど、人材育成の観点から取り組むことが望ましい。本業に支障をきたさないためにも、副業にあたっての運営基準について検討する必要がある。「戦略マネージャー」のような外部人材の採用については、自治体、企業、個人にとってもメリットがあり、短期間でも職員の勉強や人材育成に活用できると思うので、早急に検討する。



問2 『子ども達の身体が危ない！』

以前も質問しましたが、置き勉が実施されているにも関わらず、通学かばんは重いままです。背負う重さは体重の15%を超えない方がよいという調査結果もあるのに、先日1年生のランドセルを量ったら6kgもありました。体重50kgの大人に換算すると毎日2ℓのペットボトルを7本半背負って歩くことと同じになります。すでに「ランドセル症候群」という言葉も出てき、肩こりや腰痛の訴え、姿勢の変化に対する不安の声も聞かれます。子ども達の身体を考え早急に解決策を！

答 『校長会と共に対応していく』

家庭学習で使用しない教科書や資料やワーク等、学校に置いておく学習道具の範囲を広げ、それらのリストを年度初めに、学校、学級だより等の文書で保護者に示している。小学1・2年生は国語・算数以外の教科書はほぼ学校に置ける状態になっているが、今後も校長会と意見交換しながら、児童生徒の実態を踏まえ、より適切な対応を検討する。

問 デジタル教科書の本格導入も聞かれる中、家庭学習に必要なページは、クロムブックで写して家庭に持ち帰ると良いという、中学生の声もありました。毎日の登下校が、体にも心にも負担になることの無いよう、子ども達の意見も取り入れながら対応してほしいと思います。



人口減少に拍車がかかり、今はどこも人手不足。そこで、副業・兼業という形で、お互いに支えあうことができれば、理想的ですよね。幸いにも今はリモートワークも可能ですから、東京や札幌にいても、仕事や情報のやりとりは出来ますし、専門的な方からのアドバイス等も受けることができます。こうした環境を大いに生かして、外から見た八雲や世界の中の八雲、未来に向けた八雲の方向性をしっかりと見極め、みんなでより良い方向へ向かうことができれば、良いと思います。今まで経験したことの無い人口減少ですが、みんなで知恵を出し合い、力を合わせて、大人も子どもも、町民みんなが日々小さな幸せを実感できるまちづくりを進めていきましょう！

第3回定例会より(主なもの)



◎世界的にコロナは収まりつつあり、海外からの旅行客も拡大する方向となっています。このまま終息に向けて落ち着いてくれると良いのですが・・・。

今回は決算委員会ですので、予算執行においてどのような成果や効果が得られたかを、みんなで検証していくことが中心ですが、やはり現在の急激な円安や肥料や飼料の大幅な値上げにより、苦しい状況にある農業についても話し合いがなされました。予算委員会ではないので、今からどの程度予算化するなどの具体的な金額は出ませんが、それぞれの事情をしっかりと調査し、離農という形にならないようにみんなで守っていこうという方向になっています。個体販売価格も下がり、本当に苦しい状況にあると思いますが、支援内容が決まるまで、農業の皆さまにはどうぞあきらめず踏ん張っていただきたいと思います。

◎漁業においては、八雲地域のホタテが最盛期の3/2近くまで戻ってきたことや、熊石地域ではサケの値段が高かったため、順調に伸びたという嬉しい報告もありました。しかし、世界的に海の変化が大きく報じられている中、八雲町でも例外ではないので、このまま良い方向に向かうとは限りません。実際、熊石地域ではイカやタコが不漁、落部地域ではエビが不漁など、不安要素はたくさんあります。漁業においてもしっかりと支援できる体制の準備が必要です！

議会報告会での意見より



<八雲会場>

- ・公立病院は赤字でも良い。大阪のように病院を減らし、コロナ対応ができなくなってしまうような形にはしないでほしい。
- ・サーモン事業に対し、町は全体像を明らかにしていないのに、議会としてはどこまで容認しているのか。
- ・熊石の漁業者34人、70代11人、80代8人、90代8人という状況で、今後のサーモン事業の展開はどのように考えているのか。より良い方向へ行くように、議会としてもしっかりと勉強してほしい。

<熊石会場>

- ・選挙後すぐに議員には町民の声を聴いて45床に賛成してもらい、総決起集会で大喜びしたのに、途中経過も聞かされず、30床という結果のみ聞かされ、ショックが大きい。
- ・最後に憂き目を見るのは熊石の地域住民。八雲地域には影響がなく、熊石のみが影響を受けることになる。今後、スタッフが働きやすい病院、町民も建て替えて良かったと思ってもらえる病院にしてほしい。

木で遊ぼう！



9月17日(土)にシルバープラザで、今年も木育を行いました。感染対策のため、午前・午後に分けて開催しましたが、とても楽しかったからと、午前も午後も来てくれたお子さんもいました。来年ももっと充実した内容で、開催できるよう研究をしていきます。この事業には議会の林活議員連盟も一緒に取り組んでいます。町民と協働で行う数少ない事業の一つなので、特に大切にしたいと思っています。

生涯学習フェスティバル2022

日時：10月15日(土)10時～12時

会場：はぴあ八雲

講師：山上 亮 氏(整体ボディーワーカー)

テーマ：『“快さ”がからだも心も整える』』

～誰でもできる整体セルフケア～

※快い感覚を活かし、自分に合った健康の秘訣を学び、楽しく実践しましょう！

当日はリラックスした中で、手や足を動かし、耳だけではなく実際に体で実感していただく内容となっておりますので、是非、動きやすい服装でおいでください！

日時：10月22日(土) 9時～12時

集合：八雲町公民館・解散場所：SENTO

講師：加藤孝幸氏(地質専門家・八雲出身)他

ジオパーク：八雲市街地と周辺の石碑めぐり！

※八雲町にはたくさんの石碑があります。八雲町の歴史の記録でもある石碑を通して、過去の出来事を学ぶと共に、石材がどこから持ち込まれたのかを郷土史研究家と地質の専門家から教えていただきます。

日時：11月16日(水)19:00～21:00

会場：八雲町公民館

講師：渡辺 智之 氏

(快眠生活アドバイザー、日本睡眠教育機構認定「睡眠健康指導士」)

テーマ：「豊かな睡眠は明るい明日につながる」

※何度も目が覚める、なかなか熟睡ができない、ぐっすり寝たつもりでも疲れが取れていないなど、睡眠に関して悩んでいる方が増えているようです。そこで、納得のいく睡眠がとれる方法を、一緒に学びませんか？お待ちしております！

日時：11月30日(水)19:00～21:00

会場：八雲町公民館集合・解散

講師：角田 夏樹 氏

(Star Forest 星空ガイド)

テーマ：「あたりまえの夜空を八雲の宝物に！」

※育成牧場で美しい星空を見てくださいませんか？今回は、星に詳しい専門家の方に説明していただくので、普段の10倍も楽しめますよ！是非お家族でご参加くださいね！
屋外ですので、ジャンパーその他で思いっきり暖かくして来てくださいね。

<ほかにもいろいろな企画ありますよ！お楽しみに！>

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090 (赤井)

赤井自宅 栄町56-12 (栄町3区) ☎ 63-2090

ホームページは「赤井むつみ」で検索してくださいね！

